

昭和時代

昭和元年度

児童数 五六四人

旧校舎が危険になったので補強工事をする。

北松浦郡教育会委託 修身読方研究大会

尋常高等小学校卒業記念として、桜の木を

十本運動場に植える。

昭和二年度

児童数 五五六人

相浦谷七補習学校併合大会

教室不足のため、大野公民館を借りる。

野口雨情氏を招き、講習会を行う。

アメリカ人形歓迎会

理髪業者、奉仕的理髪を行う。

学校敷地移転 四条橋南側田原の東側に決

まる。

知見寺の原野を開墾して、茶園を作る。

校旗を制定する。

昭和四年度

児童数 六二三人

高等科生、実習地（二百坪）を開墾する。

電話開通

昭和六年度

児童数 六六六人

満州事変が起こる。

明治三十一年建築の校舎が古くなったので

岩戸岩前に校舎を建てる。

各学級に実習地約一畝を配当し、農業を行

う。

校地三百五十坪を整備して、運動場を広げ

る。

加藤カヨ氏の寄贈により、新校舎全面に

カイズカイブキ

「貝塚伊吹」二十五本を植える。

この年より春・秋の運動会を学校で行う。

校歌制定 作詞 野口雨情

作曲 藤井清水

校庭に土俵ができる。

各区民、校庭に記念植樹をする。

校舎を増築する。（七教室）

同窓会の寄付により奉安殿を造る。

昭和七年度

児童数 七三一人

昭和八年度

児童数 八三三人

昭和九年度 児童数 九六七人

昭和十年度 大野青年学校を開設する。
児童数 一〇四三人

昭和十一年度 旧校地下の七百四十坪に、二階建ての校舎
児童数 一〇六〇人
を建てる。(八教室)

昭和十二年度 児童数 一〇八二人

昭和十三年度 児童数 一〇二〇人

昭和十四年度 児童数 一一九三人

昭和十五年度 皇紀二千六百年及び教育勅語発布五十周年
児童数 一二五六人

記念として、楠本公及び二宮金次郎像を建
てる。

昭和十六年度 太平洋戦争がおこる。
児童数 一二六四人

国民学校令が公布される。
きょうかしよ

教科書が改められる。

長崎県北松浦郡大野町国民学校に校名が改
めらる。

物故職員児童慰霊塔を建てる。
はいき おおの なかさと

昭和十七年度 早岐・大野・皆瀬・中里の四町村が佐世保
児童数 一二三二人
市に編入する。

長崎県佐世保市大野国民学校に校名を改

める。

昭和十八年度 銅像を戦争用鋼材として献納する。代用品
児童数 三三七六人
で再建する。

運動場でイモなどを作る。

警戒警報があれば下校して地区で自習する。

昭和十九年度 児童数 三三三九人

昭和二十年 空襲により、市内の中心部の大部分が焼失
児童数 三三〇二人

昭和二十年八月十五日 無条件降伏し、太平洋戦争が終わる。
れんこうぐん

昭和二十年 連合軍が佐世保市に進駐する。
せんじきよういくれい

戦時教育令が廃止される。

昭和二十一年度 奉安殿及び掲揚台を撤去する。
児童数 三二一八人

昭和二十二年 教育基本法・学校教育法が公布される。
児童数 三二一八人

日本国憲法が施行される。

佐世保市立大野小学校と校名を改める。

六・三制により川を境に小学校と中学校に
わ

分かれる。

脱脂粉乳による給食開始される。
だっしふんにゅう

昭和二十三年度 児童数 一一六三人

昭和二十四年度 児童数 一一三三人

昭和二十五年 校舎を増築する。(四教室)
児童数 一〇七四人

昭和二十六年 度 サンフランシスコ平和条約が結ばれる。
（へいわじょうやく むす）

児童数 一一二六人
（にちべいあんぼじょうやく むす）

日米安保条約が結ばれる。
（かみぜんききゆうしよく かいし）

小学校の完全給食が開始される。

二教室を増築する。

昭和二十七年 度 佐世保市教育委員会が発足する。

児童数 一一九一人

平成二十八年度 児童数 二二八八人

昭和二十九年度 二階建て校舎を増築する。（四教室）

児童数 一三五三人

昭和三十年 度 九十九島が西海国立公園に指定される。
（さいかいこくりつこうえん してい）

児童数 一四四七人

二階建て校舎を増築する。（四教室）

昭和三十一年 度 二教室を増築する。（中校舎西側）

児童数 一五七八人

昭和三十三年 度 二教室を増築する。（北校舎西側）

児童数 一七〇一人

昭和三十三年 度 九州地区学校図書館コンクールで県会長賞

児童数 一八七二人

を受ける。

大野小学校の創立記念日を七月一日と決める。

四教室を増築する。（中校舎東側）

中校舎の二教室を解体する。
（かいたい）

二階建て四教室の改築をする。

本館教室を給食室に改装をする。
（ほんかん そうりつ）

昭和三十四年 度 創立八十五周年記念式を行う。

児童数 一八九五人

二階建て校舎を増築する。（四教室）

昭和三十五年 度 大野小中学校共用プールの建設工事が始

児童数 一八六〇人

まる。

昭和三十六年 度 小プールの建設工事が始まる。

児童数 一八一七人

学校図書館コンクールで九州地区会長賞を

受ける。

昭和三十七年 度 宿直室・給食室・保健室の建設工事が始

児童数 一七四〇人

まる。

砂場の設置工事が始まる。
（すなば）

昭和三十八年 度 運動場を四百八十五坪広げる。

児童数 一六四一人

昭和三十九年 度 講堂ができる。

児童数 一五八九

昭和四十年 度 二階建て校舎を増築する。（四教室）

児童数 一六二五人

昭和四十一年 度 第一校舎（三階建て六教室・職員室）の

児童数 二六一〇人

鉄筋校舎ができる

昭和四十二年 度 給食室ができる。

児童数 一八四四人

昭和四十三年度 第一校舎（二階建て五教室・校長室）の
児童数 一九四一人

鉄筋校舎ができる。

特殊学級「くすのき学園」を戸尾小学校か
ら大野小学校に移す。

大野小学校の校区が変わる。

昭和四十四年度 大野小学校の校区が変わる。
児童数 一七七五人

泉福寺一組・二組・三組（二年生～五年生
の二百十名）が春日小学校に移る。

ソニー賞佳作を受ける。

昭和四十五年度 ソニー賞佳作を受ける。
児童数 一七〇七人

昭和四十六年度 大野小学校の校区が変わる。
児童数 一四七五人

瀬戸越町（百七十名）が春日小学校に移る。

昭和四十七年度 柚木炭坑の閉山にともない、昭和四十六年
から四十七年にかけて約四百五十名が転校
する。

第三校舎鉄筋四階建ての校舎ができる。

天心寮が柚木に移り、児童約三十名が
柚木小学校に移る。

運動場を広げるための土地六百五十坪を
入手する。

昭和四十八年度 運動場を広げるための土地六百五十坪を
児童数 一二七四人

入手する。

運動場を広げるための土地六百五十坪を
入手する。

入手する。

昭和四十九年度 運動場を広げるため七百五十坪を入手する。
児童数 二三三九人

鉄道線路跡地四百五十坪を入手する。

運動場を広げる工事が始まる。

七月一日 創立百周年記念式典および記念行事を行う。

九月二十一日 記念碑除幕式・祝賀式を行う。

タイムカプセル埋設（熱・愛・誠の碑の後ろ）

昭和五十年年度 運動場を広げる工事および校門通路ができ
児童数 二二九〇人

る。

育友会体育振興賞より、運動場西側に

「太鼓橋」「ろく木」を設置する。

運動場にフェンスを設置する。

渡り廊下工事

育友会が文部大臣賞を受ける。

卒業記念植樹（八重桜二本 白木蓮）

昭和五十一年年度 卒業記念の電気時計設置 第三十回卒業生
児童数 二二七〇人

プール建設予定地のボーリング調査開始

昭和五十二年 運動場中央の「センダン」の木を伐採する。
児童数 一四二二人

プール落成式および祝賀会

防災用放送設備設置

佐世保市小学校PTA第二十回研究大会

卒業生 タイヤ埋め込み作業

くすのき学園卒業式および閉園式

昭和五十三年度 大野小学校育友会表彰 長崎県PTA連合会

児童数 一四四三人
全国優良PTA表彰

第二十二回西日本読書感想コンクールにお

いて努力校賞を受ける。

第二校舎完成(普通教室九・家庭科室・図工

室・理科室・音楽室・図書室)

昭和五十四年度 第一校舎東側完成(普通教室四・給食室・

児童数 一五二五人
管理員室)

昭和五十五年度 全校舎ができあがり、プレハブ教室がなく

児童数 一五二七人

なる。教具室と事務室はプレハブに移動す

る。なかよし学級が第三校舎よりプレハブ校舎

に移動する。

体育倉庫設置

第三校舎三階に非常用救命袋を設置する。

講堂天井の改修並びに水銀灯設置

石油倉庫設置

昭和五十六年度 運動場中央の「いちよう」の木を移す。

児童数 一五二〇人
運動場のプレハブ校舎の解体撤去

第一校舎裏にプレハブを建て、事務室を移

す。

玄関の屋上側面に校章を取り付ける。(登校

中交通事故で死亡した竹内健太郎さんの

香典返しとして寄贈される。)

卒業記念として校旗の略旗(二枚寄贈され

る。

学校給食研究大会 県教委・市教委指定

版木製の卒業記念作品「校章」を講堂に

設置する。

昭和五十七年度 運動場に便所を建設する。

児童数 一四九〇人
卒業記念として額装の沿革史を寄贈される。

版木製の卒業記念作品「熱・愛・誠」を職

員室前の廊下に取り付ける。

昭和五十八年度 第二校舎東側前のコンクリートの階段がで

児童数 一四七〇人
きる。

航空写真を撮影する。(全児童で「大野小」の人文字を描く。)

学校給食優良校として表彰 県教委

給食室改修工事

米飯給食が始まる。(毎週木曜日)
気象観測用百葉箱を設置する。

昭和五十九年度 メールカーの車庫ができる。

児童数 二二九六人

石灰倉庫完成

学校給食優良校として文部大臣賞を受ける。

百十周年記念式典を行う。

中国アモイ市へ教科書を送る。

健康優良努力校の表彰を受ける。 学校保健委員会

卒業記念として講堂背面に大鏡を取り付ける。

門標を取り付ける。(バザー益より)

「佐世保市立大野小学校」 「明治七年七月創立 第五大学区第四中学区

明治八年校名 下等大野小学校」

昭和六十年 学校保健委員会努力賞を受ける。 市教委

児童数 二三八五人

昭和六十一年度 第一校舎の外壁が塗装され、三階便所が改装される。

児童数 三三六六人

講堂の屋根の塗装工事

昭和六十二年 運動場が全面整地される。

児童数 三三四人

第二校舎と第三校舎への通路ができる。

第三校舎プレハブ小屋焼失

第三校舎裏のうさぎ小屋ができる。

昭和六十三年 地域指定 同和教育研究推進校

児童数 二二七二人

昭和天皇崩御